

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メールマガジン Vol.97/ 2022/3/15
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】 令和 4 年度事業計画を作成中
- [2] 【常務理事コラム】 BC 委員会について
- [3] 【限定公開】 航空医学適性セミナー動画公開中
- [4] 【お知らせ】 Be a pilot オンライン座談会 “Talk with us”
- [5] 【VOICES FEEDBACK】
 <①着陸後の紛らわしい管制指示> <②天候悪化>
- [6] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [7] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の掲載
- [8] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [9] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [10] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

- [1] 【三役コラム】 令和 4 年度事業計画を作成中
 専務理事 畑辺 三千夫

★—————

2020 年年初より続く新型コロナウイルス感染症禍は、3 年目に入っても未だ収束の見通しが立たず、第 6 波とも言われる感染拡大状況の中で、私達の日々の生活も不自由を強いられる状況が続いています。

こうした状況の中、今年度の活動実績を振り返りながら、安心且つ安全な活動が継続出来るように、引き続きコロナ禍対策を講じつつ、令和 4 年度事業計画を作成しています。

昨年 11 月に実運用を再開した FTD 事業については、引き続き器材改

良を進めつつ、体験搭乗・技術習熟支援それぞれの内容に応じたオペレーターを配置して対応していきます。

また、JAPAが発行する各種書籍や刊行物については、より一層の利便性を実現させるべく、広報企画委員会が中心となって電子書籍化を進めるとともに、ホームページの改良も進めます。また、協会内のIT環境整備も着実に進めており、会員サービス向上と業務の効率化に努めていきます。

各種セミナー・シンポジウム・講習会・見学会やFly with us~空のワークショップ~・Be a pilot（職業説明会）等のイベントについては、時々のコロナ感染状況を見ながら、WEB利用と実開催の併用も利用しつつ、充実した内容にするべく取り組んでいきます。

昨年実施した航空フォトコンテストについても、航空の裾野を広げる取り組みとして教育文化委員会が中心となって進めていきます。

コロナ禍に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻により世界情勢が不安定化する中で、航空界も大きな影響を受けざるを得ない状況にあります。各方面から求められる役割と責任をしっかりと踏まえた上で、令和4年度も公益法人としての社会的使命を果たしていきます。

★—————

[2]【常務理事コラム】BC委員会について

★—————

皆さまこんにちは、常務理事の早乙女です。

私が現在主に担当しているのはBC委員会といたしまして、仕事として航空機の操縦業務に携わっているエアラインパイロット以外のいわゆる職業パイロットの集まり（委員会）となります。所属しているのは小型航空機の運送事業・航空機使用事業者のパイロット。消防・警察などの官公庁や新聞社のパイロットなどです。

対外的な委員会活動では、「小型航空機セーフティセミナー」の開催を通じた安全活動や、「RNAV講演会」を通じたRNAV航行の普及活動を鋭意行っております。3か月に一度行われている運営委員会では前述の開催計画や航空安全に対しての様々な議論を行っております。

先月の2月3・4日には第18回 小型航空機セーフティセミナーをオンラインで開催いたしました。昨年度はコロナの影響でオンデマンド配

信（収録後の配信）となってしまいました。今年度につきましては、計画の段階からオンライン配信をも含めた計画を行っており、開催のギリギリまで実開催の可能性を探りましたが、オミクロン株による急激な感染拡大の影響もあり、結果残念ながらオンラインのみの開催となってしまいました。実開催を希望されておられました皆様方には、ギリギリの変更に伴うご迷惑をおかけしてしまったことは大変申し訳ありませんでした。当日の運営自体に関しましてはオンラインを前提とした会場選定を行っておりましたので、細かい問題としては色々あったかとは思いますが、大きな混乱もなく無事に開催できたのではないかと考えております。準備から色々動いていただいた委員会のメンバーや事務局の方々の助けがあったことと感謝の限りです。

今回はC B T Aなどのエアラインの新しい訓練などの話や、大型機からみた小型機とのT C A S発生事例の共有、慶応義塾大学の中西教授のヒューマンファクターズの話など、新しい話題が提供できたかと思っております。

今後も日本の小型航空機の航空安全のために、できることを仲間とともにやっていこうと思っております。

★—————

[3]【限定公開】航空医学適性セミナー動画公開中

★—————

2/6 に実施された航空医学適性セミナーの動画を参加者、会員限定で公開しております。ぜひご覧ください。

https://member.japa.or.jp/aviation_medicine_apptitude_seminar

★—————

[4]【お知らせ】Be a pilot オンライン座談会 “Talk with us”

★—————

このたび、若い世代に向けてパイロットの魅力を発信するプロジェクト「Be a pilot」のWeb サイトが完成しました。ぜひご覧ください。

<https://be-a-pilot.japa.or.jp>

3月19日(土)には Be a pilot の初めてのイベントであるオンライン座談会“Talk with us”を開催します。

講師として ANA と JAL の現役パイロットが参加して、パイロットのリアルを語り合います。参加者の質問にリアルタイムにお答えする時間もたっぷり用意しました。

Be a pilot オンライン座談会 “Talk with us”

【開催日時】 3月19日(土)14:00～16:00

【参加費】 無料

【開催方法】 Zoom ウェビナー

※Zoom アプリケーションが必要です。

※参加者の顔、声は入りませんので、カメラやマイクは不要です。

詳細は以下のアドレスよりお願いします。

<https://be-a-pilot.japa.or.jp/seminar1/>

イベントの告知動画もあります。以下のアドレスよりご覧ください。

<https://youtu.be/9kzJilhhl-A>

このオンライン座談会“Talk with us”は主に中学生・高校生を対象としたイベントですが、小学生から大学生であればお申し込みができます。みなさまのご参加をお待ちしています。

★—————

[5] 【VOICES FEEDBACK】

<①着陸後の紛らわしい管制指示> <②天候悪化>

★—————

<①着陸後の紛らわしい管制指示>

広州 (CAN) 空港 RWY02R に着陸後、予定どおり Y6 から離脱しようとした時でした。管制から“Yankee Two Northbound. Holding Point P2”といった内容の指示がありました。私はてっきり、Y6 からの離脱をやめて RWY 上を Continue Rolling すべきと考えました。PM の副操縦士は認識が違っていたようで、管制官に数回聞き直してくれ、その間私は RWY 上ではあるものの、曲がりかけ

た中途半端 な形で止まっていました。聞き直しても相変わらずあ
いまいな指示が繰り返されたので、PM が機転を効かせ、「Confirm
Y2 via Runway」と確認したところ話を通じたようで、ATC からは
明瞭に“Negative. Take Y, Northbound”と指示してくれました。

つまり、私が「Yankee Two (Y2)」だと思って聞いていたのは「Y
to.....」だったのです。「Via Runway」という表現を用いた副
操縦士の素晴らしい機転と Communication Skill に救われ、面倒
なことにならずに済みました。聞き間違いの背景には、ワナのような
ATC の用語もさることながら、
・社内規定の記述を参考に、
(Y6 近くの)「P4 で RWY02L を Cross できるかも」と思ってい
たところ、もっと先の P2 が指示されたことから、そこにつな
がる Y2 からの離脱にも違和感がなかったこと
・他の空港でも着陸
後、“Continue Rolling”の指示とともに、先の TWY から離脱さ
せられることがしばしば あることが思い当たります。いずれにし
ても、副操縦士の素晴らしい Leadership と高いスキルに助けられ
ました。今回は、自機のコー ルサインさえ聞き取りにくい不明瞭
な発音に苦しめられました。

★VOICES コメント | 紛らわしい表現と不明瞭な指示は改善して
ほしいですね。過去にも同様な事例がありますので、参照ください。
(FEEDBACK 2019-01-020)

<②天候悪化>

訓練空域への飛行に先立ち、大気の状態が不安定であることは認識
していたが、先に離陸した航空機からの天候報告で予定訓練空域
での訓練は可能であると思われた。しかしながら天候は急激に悪化
しており、雲 を回避しながらの訓練空域への進出となった。5,800
-6,200ft で VMC を何とか維持できる状態であったが、最終的には
IFR にて空港への帰投を決定した。この際、TCA および APP との
調整に時間を要したため、VMC を維持するのに大変な労力を要した。
予想を超える天候の悪化ではあったものの、私の判断の遅れが招い
てしまったと思われる。

★VOICES コメント | 私達は一度意思決定すると後戻りをした
がらない傾向にあります。多くの場合、正常性バイアス（よくあること
だ、大丈夫だと思い込もうとする偏見）、Plan Continuation Bias
によるものです。これを防ぐ方法の 1 つとして、天候の悪化を考
慮し、訓練実施前に計画中止（帰投）の条件を決めておく対応が

スムーズに行われるとを考えます。

★—————
[6] 【お知らせ】 セミナー・イベント

★—————

《Be a pilot オンライン座談会 “Talk with us”》
2022年3月19日（土）オンライン開催 お申込受付開始
<https://be-a-pilot.japa.or.jp/seminar1/>

《RNAV 講演会》
2022年4月3日（日）東京開催 お申込受付開始
<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》
JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、
新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへ
の注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。
セミナー・講習会へ のご参加にあたりましては、以下内容をご確認
いただきますようお願いいたします。
<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームペ
ージ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくだ
さいますようお願い申し上げます。

★—————
[7] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の掲載

★—————

【JAPA E-Journal2021-008】

ATC 再発見 Vol.032 LVP/LVPD の導入 ATS 委員会

【JAPA E-Journal2021-009】

小型機の航空ガソリンに関する現状 運航技術委員会

掲載いたしました。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★—————

[8] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★—————

【新発売】

JAPA-507（奄美・沖縄・宮古・石垣）第4版

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★—————

[9] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★—————

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：3月15日（火）～（終了に関しては別途お知らせいたします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-16：00

★—————

[10] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は4月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
